

東芝電動昇降吊戸棚 設置工事説明書

- BUC-RAD90Cシリーズ (リモコン付 食器乾燥庫)
- BUC-AD90Cシリーズ (食器乾燥機庫)
- BUC-RAS90Cシリーズ (リモコン付 収納棚)
- BUC-AS90Cシリーズ (収納棚)

安全上のご注意

●お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための安全に関する重大な内容を記載しています。つぎの内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■表示の説明

	警告	"取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷"を負うことが想定されること"を示します。
	注意	"取扱いを誤った場合、使用者が傷害"を負うことが想定されるか、または物的損害"の発生が想定されること"を示します。

- ※1: 重傷とは失明や、けが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療入院・長期の通院を要するものをさします。
- ※2: 傷害とは、治療入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
- ※3: 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■図記号の説明

	禁止	○は、禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
	指示	●は、指示する行為の強制(必ずすること)を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
	注意	△は、注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

警告

	設置工事は専門業者に依頼する ご自分で設置工事をされ、不備があった場合、感電や火災の原因となります。
	設置工事説明書をよく読み正しく確実に工事する 不備があった場合、感電や火災・けがなどの原因となります。
	ガス器具から15cm以上離して設置する 製品の熱変形や火災の原因になりますので充分注意してください。
	壁の強度と補強柱の位置を確認する 取付ける前に、壁の構造・補強柱の位置を確認してください。 十分な強度がないと、落下事故などの原因になります。
	本体は壁に確実に固定する 取付けが不十分な場合、本体の落下の原因となります。
	ねじはゆるまないよう、最後まで確実に固定する 不十分だと本体のガタつきや故障の原因になります。
	電気配線工事は必ず電気工事登録業者に依頼する ご自分で配線工事をされ不備があると、感電や火災の原因になります。
	電源は交流100Vで定格15A以上の専用回路を使用する 火災・感電の原因となります。
	電源コードは確実に接続する 接続が不十分だと、異常発熱の原因になります。
	電源コードを傷付けたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、また、重い物を載せたり、挟み込んだりしない 電源コードが破損し火災・感電の原因となります。
	アース工事を必ず行う アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。 アースが不完全な場合は、感電の原因となります。
	扉を無理に開けない ●扉は昇降棚の下降動作と連動して開きますので、無理に開けますと故障の原因となります。
	本体を壁に取付ける前に昇降操作をしない 本体に傷が付いたり、動作不良などの故障の原因になります。
	本体と天井の間に幕板を取付ける場合は、本体と幕板をねじなどで固定しない 修理・交換ができなくなります。
	施工金具に取付けてあるねじは、はずさない 本体の落下事故の原因となります。

注意

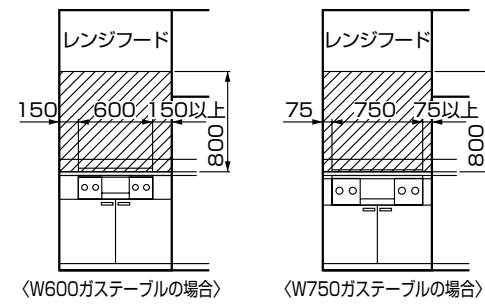
	本体が施工金具に確実に取付けられていることを確認する 引掛けが不十分だと落下の原因になります。
	本体が斜めになっていないか確認する 斜めになっていると、本体に傷がついたり動作不良などの故障の原因になります。

はじめに (工事される方へのお願い)

(単位: mm)

- 設置工事は、必ず二人以上で行ってください。
- 設置工事の前にこの説明書をよくお読みの上、正しく設置してください。
- 設置前に電気配線工事が必要です。あらかじめ行ってください。
- 電気配線工事は「電気設備技術基準」ならびに「内線規程」に準じ、電気工事登録業者に依頼して施工してください。
- この設置工事説明書は必ずお客様にお渡しください。

設置前の確認



- 火災予防条例(東京都)では、左図の斜線内に可燃物があるてはならないと規定されています。斜線内には設置しないでください。なお、これ以上に規制されている地域もありますので、地域の条例に従ってください。
- 昇降部分の下に物が設置されないことを確認してください。
- 下部に加熱機器(ガス、電気器具等)が設置されない場所であることを確認してください。

同梱部品の確認

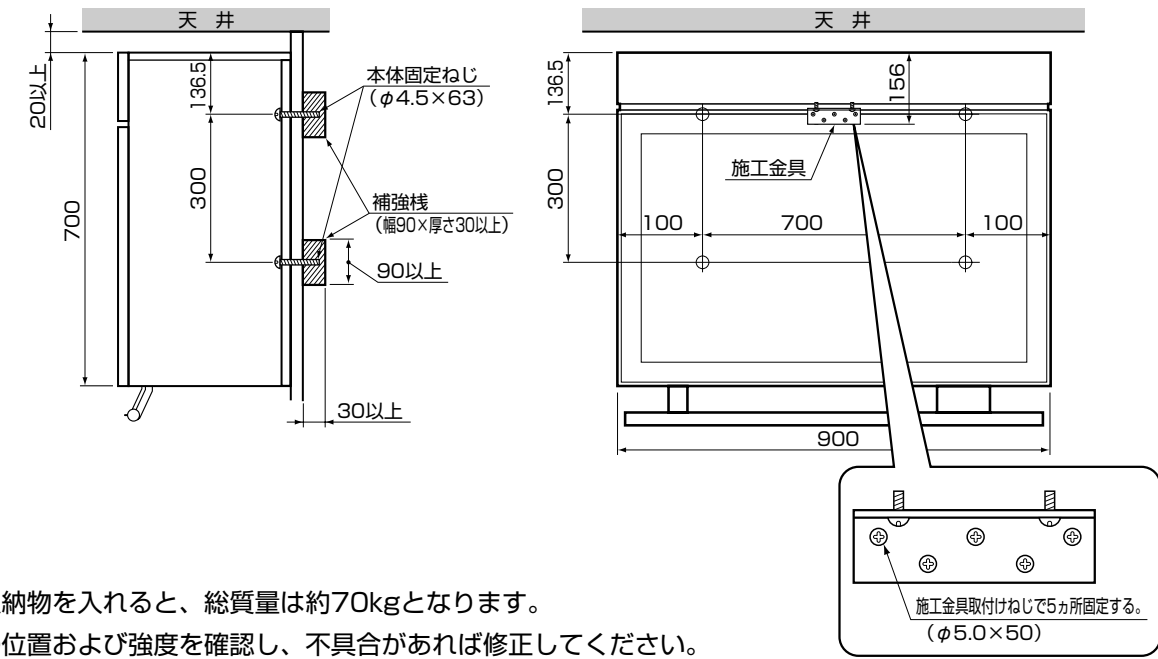
■設置工事をされる前に、商品の損傷がないこと、同梱部品がそろっていることを確認してください。
施工金具セットは本体背面に貼り付けてあります。また、上面パネルは箱パットにセットされています。

■食器乾燥庫タイプ				※印部品はリモコン付タイプのみです。			
ご使用時に必要な付属品							
食器かご(上)	食器かご(下)	はし立て					
1個	1個	1個		1個			
上面パネル	水受皿	フィルター・フィルターカバー	取扱説明書				
1個	1個	各1個	1冊				
リモコン(BUC-RD1)*	ホルダー*	単四アルカリ乾電池*	保証書				
1個	1個	2本	1枚				
取付け時に必要な付属品							
施工金具	施工金具取付ねじ	本体固定ねじ・ワッシャ	連結ねじ・化粧キャップ				
1個	φ5×50mm 5本	φ4.5×63mm 4本	φ4×28mm 4本	4個			
上面パネル取付ねじ	ホルダー取付ねじ*	ホルダー取付画面テープ*	天吊り施工ワッシャ	設置工事説明書			
φ4×10mm 2本	φ3×10mm 2本	2枚	8個	1冊			

■収納棚タイプ				※印部品はリモコン付タイプのみです。			
ご使用時に必要な付属品							
棚板	上面パネル	水受皿					
2枚	1個	1個		1個			
リモコン(BUC-RS1)*	ホルダー*	単四アルカリ乾電池*	取扱説明書	保証書			
1個	1個	2本	1冊	1枚			
取付け時に必要な付属品							
施工金具	施工金具取付ねじ	本体固定ねじ・ワッシャ	連結ねじ・化粧キャップ				
1個	φ5×50mm 5本	φ4.5×63mm 4本	φ4×28mm 4本	φ5×35mm 2本			
上面パネル取付ねじ	ホルダー取付ねじ*	ホルダー取付画面テープ*	天吊り施工ワッシャ	設置工事説明書			
φ4×10mm 2本	φ3×10mm 2本	2枚	8個	1冊			

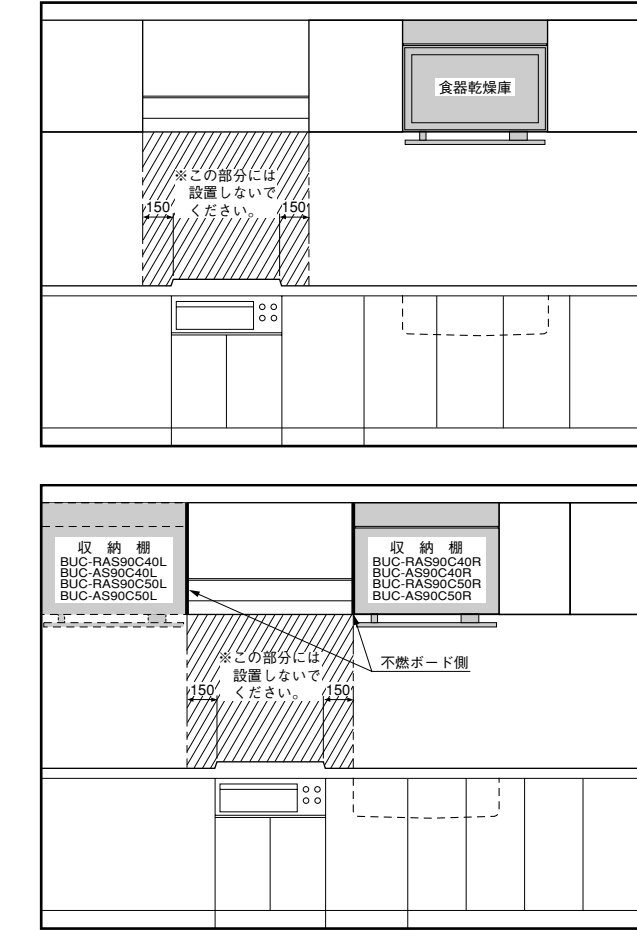
取付け場所の確認

■取付け壁面の構造および強度



- 庫内に収納物を入れると、総質量は約70kgとなります。
- 補強柱の位置および強度を確認し、不具合があれば修正してください。

■取付け場所



シンク上部に取付ける場合

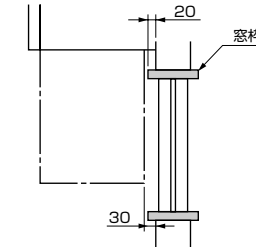
- ガスこまろ、電気こまろ等の加熱機器や、湯沸器等から150mm以上離して設置してください。(幅600ガスこまろの場合)
- 食器乾燥庫の側面は不燃仕様になっていませんのでレンジフードと隣接して取付けしないでください。(但し、収納棚は不燃仕様となっておりますので取付可能です。)

加熱機器等に隣接して取付ける場合(収納棚のみ)

- 形名末尾がRとLの2タイプがあります。レンジフードの右側に取付ける場合はRタイプ、左側に取付ける場合はLタイプを必ず使用のこと。

不燃ボードを使用しているのはキャビネットの右または左のどちらか一方の側面です。

■窓枠について



- サッシ等の窓枠の突出寸法は20mm以下にしてください。昇降棚を下降させたときに、当たる恐れがあります。

取付け荷重について

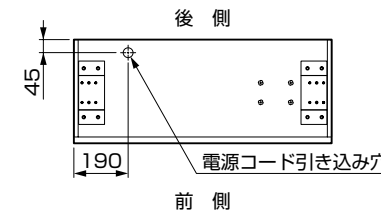
- 製品を取付けると、壁面かなりの負担がかかります。下記に注意しながら取付けてください。
- 製品庫内に収納物を入れると、総質量は約70kgとなりますので、取付け強度は総質量の3倍を目安としてください。

2 据付けの前に

(単位: mm)

電気配線

■電気配線(AC100V)、アース線の取出位置



- 天井面の左記の位置に取出口を設け、ここから電源ケーブルおよびアース線を約1m引出します。

接地工事

- 漏電による感電事故を防止するために、必ずアースを設けてください。
- アース工事は、電気工事士の有資格者がD種(第三種)接地工事するよう法令で定められています。
- アースは他の電気器具と共用したり、ガス管、水道管への接続は危険ですので絶対におやめください。
- 接地工事終了後は必ず接地抵抗を確認してください。

漏電しゃ断器の設置

- 万一のときの安全のために、漏電しゃ断器の設置をおすすめします。
- 接地工事および漏電しゃ断器の設置は、「電気設備技術基準」および「内線規程」に従ってください。

3 据付け工事 (各機種共通)

(単位: mm)

- 補強柱の位置、強度は十分かどうか確認してください。
- 電源ケーブル、アース線の取出口は指定の位置にあるか確認してください。

1 本体の取付け

- 本体底面についている箱パット(上面パネル)は必ずつけたままにしてください。

1	■施工金具の取付け 	注意 施工金具は水平に取付ける 水平になっていないと本体が斜めになります。
2	■本体の取付け 	注意 本体が施工金具に確実に取付けられていることを確認する 引掛けが不十分だと落下の原因になります。
3	■板配線 	<ul style="list-style-type: none"> ●上面パネル部奥に収納されている仮設コードを固定テープをはがし取り出します。 ●仮設コードのプラグをコンセント(AC100V)に接続します。
4	■昇降動作の確認 	注意 昇降動作を行うときは、必ず壁に吊下げてから行う 故障の原因となります。
5	■扉のはずしかた 	<ul style="list-style-type: none"> ●扉をゆっくり上へ持ち上げてください。 注意 扉の取り扱いには十分注意する 破損、けがの原因になります。

※扉の取付けは順番が逆になります。

